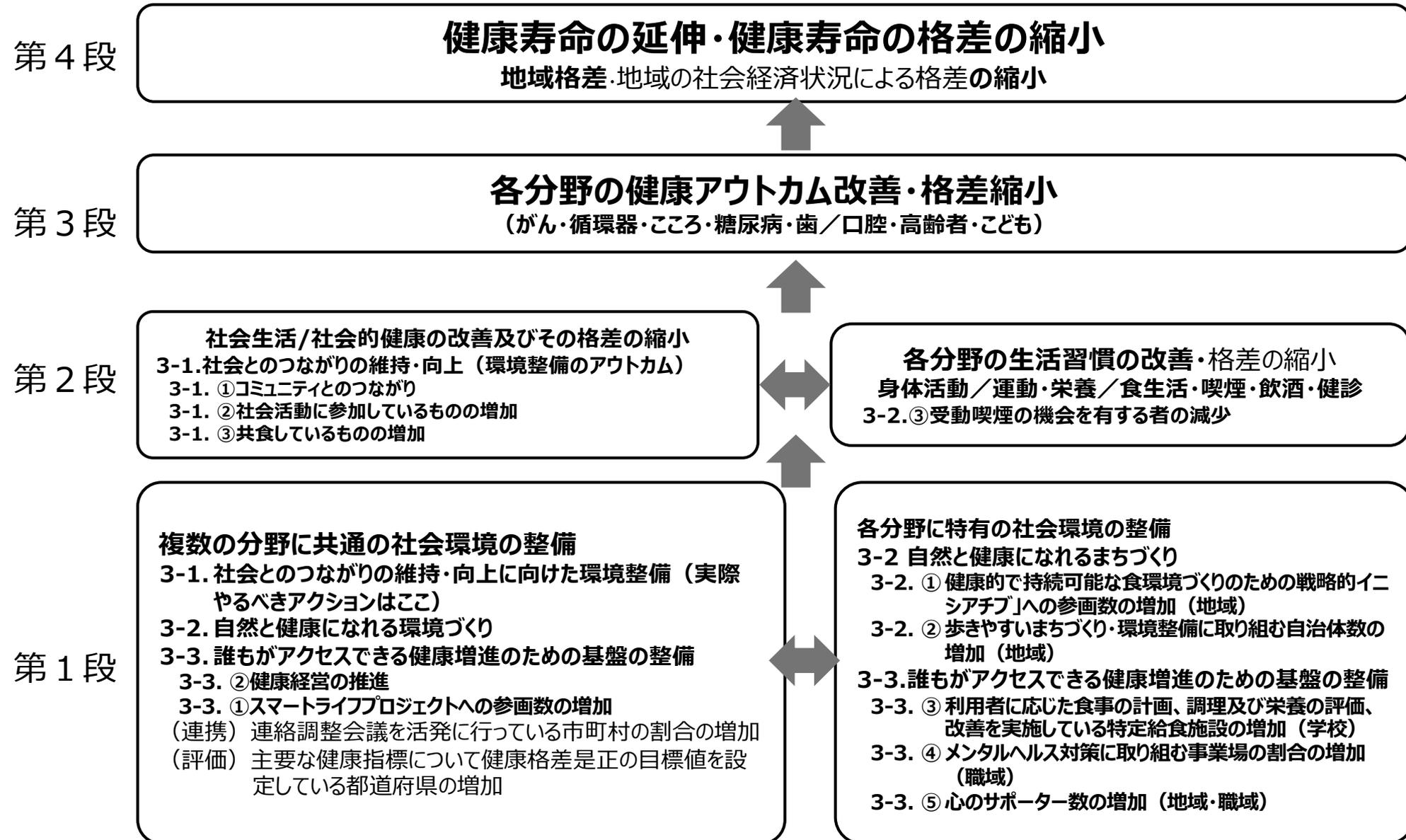


社会環境整備（全体像）：ロジックモデル



地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加：ロジックモデル

地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加

3-1. 社会とのつながりの維持・向上に向けた環境整備

- 環境整備
 - ・ 通いの場作り
 - ・ 地域行事（お祭りなど）やイベントの支援と実施
 - ・ つながり作りに向けた地域での体制構築支援（組織連携体制のマネジメント支援、会費の補助、子ども食堂の運営支援、地域イベントへの参加費用補助など）
 - ・ 社会福祉協議会や町内会との協働による、住民主体の社会活動拠点の展開
- 機会作り
 - ・ 地域行事（お祭りなど）やイベントの支援
 - ・ 防災訓練
 - ・ 地域における声かけ・見守り活動
 - ・ 多様な形態の交流づくり（山間部におけるミニサロンの実施など）
 - ・ 男性限定の料理教室
- 人材育成
 - ・ 地域コーディネーター（NPO、学生団体等）との連携による地域の社会課題（空き家問題等）解決
 - ・ 地域外の人間が参加する住民座談会の開催

各分野の生活習慣の改善・格差の縮小に向けたアクション
（身体活動／運動・栄養／食生活・喫煙・飲酒・健診）

他の目標達成のための環境整備に関するアクション

3-2. 自然と健康になれる環境づくり

3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

3-3. ②健康経営の推進

3-3. ①スマートライフプロジェクトへの参画数の増加

（連携）連絡調整会議を活発に行っている市町村の割合の増加

（評価）主要な健康指標について健康格差是正の目標値を設定している都道府県の増加

各分野に特有の社会環境の整備

3-2. 自然と健康になれるまちづくり

3-2. ①健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的「イニシアチブ」への参画数の増加（地域）

3-2. ②歩きやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加（地域）

3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

3-3. ③利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の増加（学校）

3-3. ④メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合の増加（職域）

3-3. ⑤心のサポーター数の増加（地域・職域）

社会活動を行っている者の増加：ロジックモデル

いずれかの社会活動（就労・修学を含む）を行っている者の割合の増加

3-1. 社会とのつながりの維持・向上に向けた環境整備

- 環境整備
 - ・ 道の駅、商業施設など
 - ・ 地域の社会資源の見える化（地域のインフラ、回覧板）社会参加できる場所等の情報源の整備
 - ・ インターネットを利用できる環境整備（SNS、メタバース、Wi-Fi環境の整備等）
 - ・ 移動支援 特定地域づくり事業協同組合制度（総務省）
 - ・ 子供が集まる場所づくり（児童館・子育て支援センター・学童保育）
- 機会作り
 - ・ グリス口のような低価格の移動支援、オンデマンド移動支援、買い物バス、ツアー等
 - ・ 人が集まるような取り組み
 - ・ サードプレイス・居場所づくり多世代交流的な
- 人材育成
 - ・ ボランティア、プロボノ支援
 - ・ 高齢者の就労支援（リスキリング支援など）リタイヤからの起業、その支援 高齢者の就労マッチング（シルバー人材センターなど）

各分野の生活習慣の改善・格差の縮小に向けたアクション
（身体活動／運動・栄養／食生活・喫煙・飲酒・健診）

他の目標達成のための環境整備に関するアクション

3-2. 自然と健康になれる環境づくり

3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

3-3. ②健康経営の推進

3-3. ①スマートライフプロジェクトへの参画数の増加

（連携）連絡調整会議を活発に行っている市町村の割合の増加

（評価）主要な健康指標について健康格差是正の目標値を設定している都道府県の増加

各分野に特有の社会環境の整備

3-2. 自然と健康になれるまちづくり

3-2. ①健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」への参画数の増加（地域）

3-2. ②歩きやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加（地域）

3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

3-3. ③利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の増加（学校）

3-3. ④メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合の増加（職域）

3-3. ⑤心のサポーター数の増加（地域・職域）

地域等で共食している者の増加：ロジックモデル

地域等で共食している者の割合の増加

3-1. 社会とのつながりの維持・向上に向けた環境整備 (実際やるべきアクションはここ)

- 環境整備
 - ・ 地域の共食マップを作成する
 - ・ 市民から食のリーダーを公募して、協議会で共食等の企画を行う
 - ・ 県が、多様な主体の取組を事例紹介しネットワーク化する
 - ・ 診療所、学校や地域のサマープログラム参加者に、家庭での共食のメリット等を伝える
 - ・ 小学校の家庭科の授業で子どもに教育
 - ・ サマータム制度による朝方のライフスタイル推進
 - ・ 父親の育児参加として食事づくりを推進
 - ・ 自治体による婚活支援
- 機会作り
 - ・ 会社で昼食会を開催する
 - ・ 地域で共食を促す場を作る（子ども食堂、みんな食堂、シニア食堂）
 - ・ 農業とつながった食堂づくり
 - ・ 共食プログラム付きの通いの場を増やす
 - ・ 男性限定の料理教室（再掲）
 - ・ 放課後児童クラブでのクッキング
 - ・ 防災と関連付けた共食の場（防災拠点での炊き出しイベント、バーベキュー等）
 - ・ 地域での伝統行事での共食（祭り、餅つき・スイカ割り・おはぎづくりなど）
 - ・ 地域活性化の取り組みとの連携：まちなかウォークアブルエリアでの共食イベント・朝食会など
 - ・ 共食を促す地域イベントの推進（ビアフェスタなど）
 - ・ 図書館での共食のしかけづくり
 - ・ バーベキュー場を増やす・キャンプ規制緩和・焚火できる雰囲気づくり

各分野の生活習慣の改善・格差の縮小に向けたアクション
(身体活動／運動・栄養／食生活・喫煙・飲酒・健診)

他の目標達成のための環境整備に関するアクション

3-2. 自然と健康になれる環境づくり

3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

3-3. ②健康経営の推進

3-3. ①スマートライフプロジェクトへの参画数の増加

(連携) 連絡調整会議を活発に行っている市町村の割合の増加

(評価) 主要な健康指標について健康格差是正の目標値を設定している都道府県の増加

各分野に特有の社会環境の整備

3-2. 自然と健康になれるまちづくり

3-2. ①健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」への参画数の増加
(地域)

3-2. ②歩きやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加 (地域)

3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

3-3. ③利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の増加 (学校)

3-3. ④メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合の増加 (職域)

3-3. ⑤心のサポーター数の増加 (地域・職域)